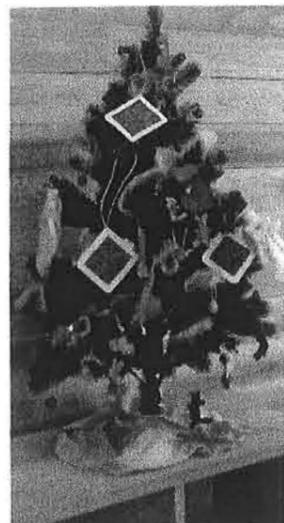


つぼみのひろば通信

2010・12月

新潟青陵幼稚園つぼみのひろば

伊藤純子 石橋はるみ



2010年も残すところあと1カ月となってしまいました。

月日が経つのははやいですね*

12月、幼稚園はみつろうの甘い優しい香りに包まれます。りんごろうそく作りがはじまるのです。子どもたち一人一人が穏やかに流れる時を過ごしながらか心静かにアドベントの日を迎えます。

つぼみの12月は、手仕事の月にしたいと考えています。羊毛やフェルト、トランスパレントでお部屋の飾りなどを作ってみませんか。ツリーに飾っても素敵ですよ。親子で作る楽しみをぬくもりをたくさんたくさん感じていただけたら嬉しく思います。ご参加をお待ちいたしております。

12月の予定

2日(木) 7日(火) **9日(木)** 手仕事の日。

14日(火) 子育て講座・子どもの身体とこころ

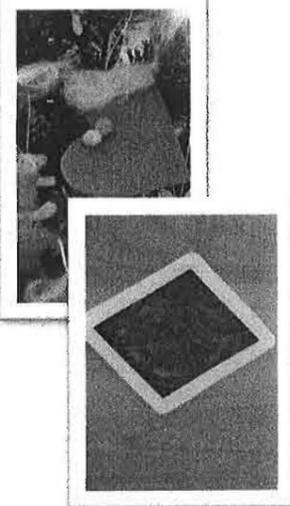
真壁 あさみ (新潟青陵大学 准教授)

16日(木) 給食試食会。(ランチョンマット おはし

スプーンなどをお持ちください。)

21日(火) 今年最後のつぼみの日となります。

(おたのしみ会をいたします。)



～お家の方から～



友だちが遊んでいるのに玩具を取ってしまう。玩具を取られてしまう。遊んでいても要求されると、すぐに渡してしまう。NOと言えない。そしてストレスをためてしまう。等々 玩具の取り合いに關したお悩みをよく耳にいたします。そんなお悩みの参考にしていただけたらと思いい園で配布いたしております。「職員室から・・・」の一部をご紹介します。日々の子育てにお役立ていただけたら幸いです。

職員室から・・・

新潟青陵幼稚園 加藤由美子

物を貸してあげられない場合、お母さんが代わりに「ごめんね、今使ってるの、終わったらずきに貸してあげるから待っててもらえる?ごめんね」と貸してあげられないときの言い方のお手本を見せてあげることも必要ですね。なんで貸してあげられないの!貸してっていつてるでしょとお母さんが無理やり貸してしまうのは、子どもの気持ちが置き去りにされてしまいます。子どもの気持ちを尊重して、そのうえで、貸してと言っている相手の子の気持ちを伝え、貸してあげられるといいねということを書いてあげることが必要です。こうして、丁寧に接する事が、相手の気持ちを思いやりをもって行動することにつながります。



お手本となる大人がそばにいて、言葉が不十分でまだうまく言い表せない子どもの思いを、代わりに相手に伝えてあげることが必要です。まだまだ、幼児期は正しい大人がそばにすることが必要です。子どもの気持ちを理解して相手に伝える……相手との関係を修復する練習を大人に支えられながら行っていく時期です。縁の下の力持ちのように、子どもたちを導く大人がそばにいて、一つひとつの出来事に丁寧に対応していくことが求められます。では、大人がいない子どもだけの世界は、どうなるのでしょうか、きっと、強い子が自分の思いを通そうとする社会なることでしょうか。地域に子ども社会があった時には、年上の子が小さい子に社会の大切なルールを教えていたのですが、今、子ども社会が地域になくなって、子どもどうし切磋琢磨する機会がなくなりました。その代わりに大人が果たさなければならない時代です。

子どもは、いろいろな経験をして自分で学ぶのですが・・・でも、側に大人がいて子どもどうしの気持ちを伝え、トラブルを整理してあげることは、なくてはならないことです。子どものなすがままでは、相手の気持ちに気づくという事は難しいことです。子どもの一方的な思いで終わってしまいがちになります。そこに大人がいること、そして、その大人はきちんと子どもの気持ちを受け止めたうえで前向きな解決を求められます。きちんと子どもに寄り添う大人としていたいですね。